

昭和48年1月13日

第3種郵便物認可

H S K 通巻 **240** 号

発行 平成4年4月10日

毎月10日発行

編集 個人参加難病患者の会  
あすなる会発行 北海道身体障害者団体  
定期刊行物協会

# あすなる

●あすなる会会報第60号

## 総会に向けて 会長代行 斎藤 安正

お元気ですか、総会（5月10日）が間近になりました。  
総会が楽しい物語の始めとなり、集う喜びをまた発見、なにか  
やらなくチャーの意気込みに燃える壮快なものにしようとな  
い役員でいま一生懸命頑張っています。

地域運営委員の皆さんや、難病連からの貴重なご助言はギシ  
ギシ軌しんだ歯車の新しいエネルギーとなり「あすなる会」の  
動輪は再びユックリ、ユックリ静かな音色を奏で、動き始めま  
した。

●手を結び、培う顔、かを、カオ、…あの人、この人、そして  
あなたのお顔が一堂で開花、けんじゃくの絆は一層深まり、や  
がて高まる賛歌のひびきを明日に輝く道標としたいと思います

- 1 業務の効果的な進め方
- 2 役員の新しい求め方
- 3 楽しく集うことの工夫など運営の基本課題について総会は  
あなたが主役です。あなたの提言をみんなでユックリ醸成  
させましょう。



## 総会のお知らせ

日時 5月10日(日) 11時より  
会場 北海道難病センター  
札幌市中央区南4条10丁目  
☎011-512-3233

総会で病気の体験発表があります

特発性大腿骨頭壊死症	尾関 正徳
天ぼうそう	成田 愛子
多発性硬化症	田中 正志
橋本病	倉 美智枝

なにかゲームができたなら、いいなあと考えています。

交通費について

市内の人(500円)市外の人(汽車、バス代)を用意します。~~半額~~の負担です  
ささやかな昼食も用意します。

沢山の皆さんにお会いしたいと、楽しみにしています。

5月1日までに 同封のハガキでご返事をお願いします

(深澤 記)

運営委員会議から =新たな出発を目指して=

時 平成2月22日

時折小雪まじりの春一番、朝から肌寒い日であった。

運営委員会はこれまで総会の折開催していましたが、今年は急拠この時期に行ないました。「あすなる会」のこれからの運営の在り方や総会について、会長代行から基本的構想の説明のあと、自由な話し合いがされた。

役員を選出については、歴史的背景と最近の情報を重ね、濃密な検討を展開、新たな発想に異口同音の期待が寄せられました。また総会についても、いままでの枠にはまった考え方を脱却、例えば楽しい総会づくりを目指す一大変身が強く、提言されました。

伊藤事務局長から「あすなる会」の特質からみてその運営に難しさはある。集まりをいかに楽しいものに、その工夫が大切である。

役員も患者であるから業務の展開に当たっては、体調にあわせてあせらず、ゆとりあるすすめ方が望ましい、難病連としても業務について援助していきたいと話があった。

最後に会長代行から会の運営に両眼が開いた、御助言を粗しゃく反復し今日を第一歩としたい。残った役員が力を合せ新年度に向け基礎づくをすすめていきたいと挨拶があった。

- 1 役員は広い場（人も地域も）から求められるように工夫する
- 2 業務の推進に当たっては例えば機関紙の発行は役員のみ、仕事にすると気負いや忙しさが体に現われるので、簡単な作業（文書おり、封筒いれ）は他の会員に手伝ってもらう。

こうした作業の集いは楽しい物に変えていく。



突然ですが、あすなろ会の会員紹介を企画してみました。どこまで、皆さんの横顔をお伝えできるか分かりませんが、拙文ながら、とにかく筆をすすめてみます。トップバッターは、この数カ月会長代理としてご尽力くださった斉藤安正さんです。

\*\*\*\*\*  
 Q (上谷) 病名と入会した年を教えてください。・・A (斉藤) 橋本病  
 です。入会は平成3年4月です。

Q. 入会してすぐ副会長を、そして11月には会長代行をなさいましたね。・・A. そうですね。この4月19日には橋本病友の会が発足しますので、その準備もしています。

Q. あすなろ会に入った感想は?・・A. いろいろな難病を知り、みんなの生きる努力というのを肌で感じましたね。

Q. もしよかったらお年を　　・・A. 昭和5年12月生まれです。

Q. では、最後に橋本病友の会への一言を　　・・A. 一つの病に苦しみ、共通の悩みを持つ仲間が互いに支え、励ましあっていける会に育てほしいと思います。  
 (上谷 記)

### ◎ご苦勞様でした　～お元氣でご活躍を～

このたび4人の方が病氣療養のため会を退ぞくことになりました。本会の運営のために、大変お世話になりましたことを心より感謝とお礼申し上げます。

☆石川さんは、弱者に暖かい手を差し伸べ、専門医の紹介や付添って訪院するなど親切な行動力を示され、また、会長として「あすなろ会」の発展に精力的に尽くされた功績は誠に大きいものでございます。

☆日下部さんは、日頃の体調不良や、ご多忙にもかかわらず事務局の中核者として、また、会員とのジョイントを積極的にとり結び更に、大正琴の演奏など、ユニークな会の運営を司って参りました。

☆小湊さん、飯間さん共々知恵を絞り、機関紙作りや行事のお世話、ビール券の販売など積極的にとり組まれたお姿が目には浮かびます。

私達は、あなた方が残された足跡を大事に育てていく事をお約束申し上げます。

どうぞ、ますますご健勝で御活躍されますことを、心よりご祈念いたします。  
 (4) (斉藤 記)

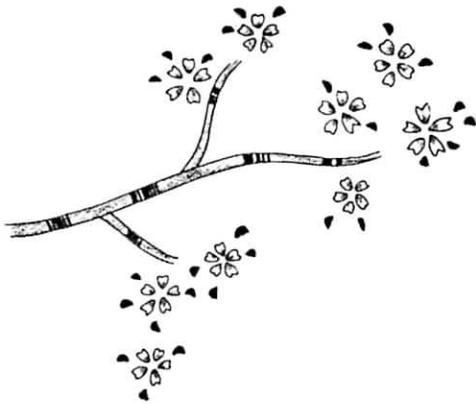
H4. 1. 26

あすなろ会として、はじめての試みの新年会は、寒い中、足元が大変な時でしたが11人も集まり、難連から長谷川さんもお招きして、総勢12名顔を合わせ、楽しい一時をすごしました。

一人一人自己紹介をし、皆で耳をかたむけたり、手作りのビンゴゲームで盛り上がり（景品までもらいましたよ）又、持ちよったお菓子、その日に作っていただいたお雑煮などなど、たくさんのおいしいものがテーブルを飾りました。

はじめてお逢いした方や、久々の再会に喜ぶ方など様々な出逢いもありました。

今回、出席できなかった方も、また他の機会に新しい又は久々の出逢いをいたしましょう。



（平成3年度）

1991年度版 北海道難病白書が発表されました

これは、北海道の難病患者の実態をまとめたもので、医学・福祉・看護等の専門分野の方々により、調査結果があらゆる角度から詳細に分析されるとともに難病患者に関する数多くの貴重な提言がなされています。

\*あすなろ会にも1冊あります。



難病問題・  
在宅医療・在宅福祉問題などの  
全ての関係者へあくるメッセージ  
全文502ページ 1部4,500円  
(送料1冊300円)

# 「橋本病友の会」

～ 結成大会決まる ～

「あすなろ会」から7番目の子供（橋本病友の会）が4月19日（日）誕生することになりました。

第一回目の準備会・8月22日から7回を重ね、3月18日に今までコツコツ積み上げ、色々話し合った集大成が結成大会の案内文として関係者に配布されました。難病連の援助を受けながら活動されてきた準備会の方々にとって感無量のものがあったことでしょう。ご苦労様でした。

（斉藤 記）



## 編集後記

あすなろ第60号は来年度の総会を活気のあるものにしたいという気持ちで作りましたが、いかがでしたか。

今回は、「会員インタビュー」を試みてみましたが、できるだけシリーズ化して次々に新しい人の横顔を、と思っています。

「この人にインタビューを」などの要望があったら最高にうれしいです。また、各支部での楽しかった出来事やすてきな人の話や、「あすなろ」に寄せる感想など、皆さんの参加を心からお待ちしています。

（上谷 記）

編集人 個人参加難病者の会  
あすなろ会  
札幌市中央区南4条西10丁目  
電話512-3233  
昭和48年1月13日第3種  
郵便物認可  
平成4年4月10日発行  
HSK通巻240号 領価100円  
発行人 北海道身体障害者団体  
定期刊行物協会 神原 義郎  
札幌市北区北13条西1丁目

